

レジメン名 DLd(点滴静注)

出典 **ダラザレックス適正使用ガイド2017年11月作成**

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

多発性骨髄腫

進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

その他 PLTが3万/mm³未満の時、回復後15mg/日で再開
 CLcrが60mL/min未満の時、10mg/日 連日投与
 CLcrが30mL/min未満の時、15mg/日 隔日投与
 透析患者では、5mg/日 連日投与

投与中止の基準

ANC	500/mm ³	PLT	25000/mm ³
その他	発熱性好中球減少症、出血を伴うGrade3以上のPLT減少、感染症を伴うANC減少、Grade3以上の非血液毒性		

1クール期間 28日

総クール数 PDまで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ダラツムマブ(ダラザレックス)	16mg/kg	輸液適量	50mL/時より開始	day1、8、15、22(1、2サイクル)
ダラツムマブ(ダラザレックス)	16mg/kg	輸液適量	100mL/時より開始	day1、15(3-6サイクル)
ダラツムマブ(ダラザレックス)	16mg/kg	輸液適量	100mL/時より開始	day1(7サイクル以降)
レナリドミド(レブラミド)	25mg/body	経口		day1-21
デキサメタゾン(レナデックス)	20mg/body	経口		day2、9、16、23(1、2サイクル)
デキサメタゾン(レナデックス)	20mg/body	経口		day2、16(3-6サイクル)
デキサメタゾン(レナデックス)	40mg/body	経口		day9、23(3-6サイクル)
デキサメタゾン(レナデックス)	20mg/body	経口		day2(7サイクル以降)
デキサメタゾン(レナデックス)	40mg/body	経口		day9、16、23(7サイクル以降)

1日投与順
 (経時的にプレデニゾン・ポストステロイド)

1、2サイクル day1、8、15、22
 ①アセリオ1000mg+デキサート19.8mg+ボラミン5mg (15分)
 ②生食100mL (60分)
 ③ダラザレックス16mg/kg+輸液総量1000mL(50mL/時より開始※)
 ④生食50mL (フラッシュ用)

3-6サイクル day1、15
 ①アセリオ1000mg+デキサート19.8mg+ボラミン5mg (15分)
 ②生食100mL (60分)
 ③ダラザレックス16mg/kg+輸液総量500mL(100mL/時より開始※)
 ④生食50mL (フラッシュ用)

7サイクル以降 day1
 ①アセリオ1000mg+デキサート19.8mg+ボラミン5mg (15分)
 ②生食100mL (60分)
 ③ダラザレックス16mg/kg+輸液総量500mL(100mL/時より開始※)
 ④生食50mL (フラッシュ用)

内服
 レナデックスは分1-2で昼までに内服
 レブラミドは眠前に内服
 ※速度の詳細は添付文書参照